

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2年 2月 28日

事業所名 放課後等デイサービス れいる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	67%	11%	11%	完全に隔離できる空間はないが、数あるパーテーションを使用し、区画分けしている。	
	2	職員の配置数は適切である	67%	33%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	33%	44%	22%	トイレスペースが狭い。	ドアを開けての対応も踏まえ、入り口付近にパーテーションを使用するなどしてプライバシーを保護する。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	44%	56%	0%	会議ごとに目標の振り返りをし、問題点を解決するようにしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	89%	0%	11%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	67%	33%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	22%	33%	11%		第三者評価が実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	89%	11%	0%	法人内の児童事業所合同で研修報告会を実施し、知識の共有化を図っている。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	89%	11%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	56%	22%	11%		アセスメントツールの活用が出来ていないので、次年度で内容も見直しつつ使用していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	67%	33%	0%	利用者や保護者への聞き取りをし、要望に対応するようプログラムを作成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	月ごとに季節を感じられる内容をプログラムに取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	67%	33%	0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	67%	33%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%		

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	22%	67%	11%	終了時に常勤、非常勤が集まらないため、次の日の昼礼で行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	33%	56%	11%	複写式の連絡帳で日々の記録を取っているが、特記事項の記録が漏れることがある。	様々な記録を残し、職員間で共有し、支援の向上につなげていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	67%	33%	0%		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	44%	56%	0%		ガイドラインの内容を職員に伝えきれていないため、今後会議などで内容の共有をしていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	44%	44%	0%		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	67%	33%	0%	保護者の方を介したり、送迎などで直接やり取りしたり、連携を取っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	44%	0%	現在、医療的ケアが必要なお子さんの利用がない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	33%	56%	0%	直接のやり取りは、あまりない。保護者の方から情報をもたらしている。	より詳しく本人理解を深めるためにも、連携を取っていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	44%	44%	0%	簡単な情報提供はしている。	移行会議の開催に意欲的に参加していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%	0%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	22%	22%	44%		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	22%	78%	0%	放課後等デイサービスの連絡会へ毎回参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%		
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	11%	78%	0%	関わり方や環境の作り方など簡単な内容を保護者の方に提案するようにしている。		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	33%	44%	0%		契約時、面談時などで説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	89%	11%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	56%	33%	0%		次年度に実施が出来るように検討中。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	89%	11%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	78%	22%	0%		
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	67%	33%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	11%	78%	11%		以前の事業所では高齢のデイサービスとも連携しつつ、地域の方との交流もありましたが、水害にあり、仮再開中のため難しい状態です。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	33%	67%	0%		事業所に掲示しているが、認知度が低いので周知方法を今後見直していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	89%	11%	0%	年2回訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	89%	11%	0%	虐待防止の研修に参加し、内容を全職員で周知している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	33%	56%	0%		情報の共有が出来ていない職員もいるため、研修などを踏まえて理解を深めていきたいと思えます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	78%	22%	0%	家庭からもらっている情報を基におやなどの提供に気を付けている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	56%	44%	0%		